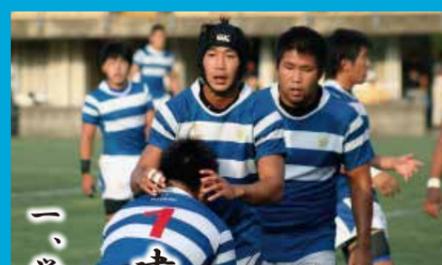


雄飛

一般社団法人 雄飛会
(福岡工業大学同窓会)会報 **vol. 22**

発行 一般社団法人 雄飛会(福岡工業大学同窓会)/会報編集委員会
〒811-0295 福岡市東区和白東3-30-1
TEL/FAX 092-608-5982
E-mail dousoukai@fit.ac.jp
URL http://www.fit.ac.jp/dousoukai/

平成27年度 九州学生ラグビーリーグ戦5連覇



全国大学ラグビー選手権大会 5年連続出場!!

一、学後の品性を陶冶し

二、宇宙の真理を探求し

これを実生活に応用して

社会に貢献する

真の国民としての

教養を啓培する

人類至高の精神、自由平和信愛を

基調として世界に雄飛する

人材を育成する

平成27年度 同窓会育英金受給者決定

今年度は本育英金に21名の応募がありました。応募者の中から書類選考によって候補者を絞り、面接により受給者を決定しました。面接評価においては、①家庭の経済状況、②夢・目標や応募の理由、③家族構成や就学状況、④学業取り組み姿勢などを重点に行いました。今年度の受給者は以下の通りです。

工学部	生命環境科学科	4年	Aさん
工学部	生命環境科学科	3年	Kさん
工学部	生命環境科学科	3年	Mさん
工学部	生命環境科学科	3年	Oさん
工学部	電気工学科	4年	Tさん
情報工学部	情報工学科	3年	Fさん
情報工学部	情報通信工学科	4年	Oさん
情報工学部	情報通信工学科	4年	Iさん
社会環境学部	社会環境学科	3年	Kさん

※個人情報保護の観点から、個人名は伏せさせていただきます。

母校だより

同窓会会員子弟の受験料免除について

福岡工業大学および福岡工業大学短期大学の同窓会会員(在学生を含む)の子供、兄弟姉妹が本学の入学試験を受験される場合は、すべての受験料が免除の対象になります。

入試区分	入学願書による出願	Web出願
特別推薦(前期)	30,000円	-
一般推薦、A方式、特別推薦(後期)	30,000円	28,000円
C方式(前期・後期)	15,000円	14,000円
特別推薦、自己推薦対話型	25,000円	-
一般推薦A・B、一期A・B、二期	25,000円	23,000円
C入試(前期・後期)	10,000円	9,000円

免除を希望される方は、願書を提出される前に、大学・短期大学部に問い合わせて「受験料免除申請書」を入手し、受験料の代わりに受験料免除申請書を出願時に同封してください。

■問合せ先
福岡工業大学・福岡工業大学短期大学部 入試課
TEL : 092-606-0634(直通) FAX : 092-606-7357
e-mail : fit-nyushi@fit.ac.jp

平成26年度 福岡工業大学同窓会育英金をもらって

工学部 電子情報工学科 4年

この度は、福岡工業大学同窓会育英金を給付していただき、大変ありがとうございました。私は、同窓会育英金を受給するのは2度目ですが、内定したとのご連絡をいただいたときはとても嬉しかったです。家族共々、皆様の温かいご支援に心から感謝しています。選考に携わってくださいました同窓会役員の方々にお礼申し上げます。

今回育英金をいただいたことで、浪人までして大学に進学したことが、親にかかっていた負担を少しでも減らすことができることに大きな喜びを感じました。また、学費のためにアルバイトの日数を増やす必要がなくなり、アルバイト本位の学生生活にならずに就職活動に専念することができ、無事内定をもらえ、親の不安を早期に解消することができました。

私の希望していた職種はシステムエンジニアで、お客様と一緒に商品を開発していく技術者になりたいと思っており、内定を企業理念と自分の希望が一致した会社からいただくことができました。卒業後は社会人として早く仕事に慣れ、自

分の目指している技術者になれるように努力していきます。育英金を返還しないでよいとのことですが、同窓会役員の方々が私を採用してよかったですと思っていたように、社会に貢献できるようにもって精進していきたいと思えます。また、私のように家庭の事情などで意欲がなかなか金銭面で不安を抱えている学生は少なくないと思います。このような多くの学生を少しでも援助していき、支えられる側から支える側になることが返還していただくことだと思っています。

今回のこうした厚意をしっかりと受け止め、今後も学業に専念し福岡工業大学の学生として、社会に貢献できる人材になれるように努力していきたいと思っております。また、福岡工業大学を卒業したという誇りと、同窓会の方々に支えられているという自覚と感謝の気持ちを持って社会に出ていきたいと思っております。最後に同窓会育英金を給付していただいたことを重ねてお礼申し上げます。

事務局より

1. 募金・名簿などの勧誘について

民間の広告会社より「大学・同窓会の新聞広告を掲載したいので寄付して欲しい」という趣旨の電話による勧誘が行われることがあり、その金額も2万円前後と高額なようです。また、民間の出版社より「福岡工業大学総合名鑑を発行するので、あなたの情報を提供して欲しい」という勧誘も行われているようです。同窓会では寄付や名簿に関する活動などについては、理事会および社員総会の決議を経て責任の所在を明確にして、必ず文書でお願いしています。従って、右記のような勧誘に対しては、同窓会本部では何ら関知しておりませんので、ご注意ください。

2. 異動の連絡をお願いします。

毎年発行される会報「雄飛」や会員大会案内などが皆様の手元に確実に届くために、正しい住所の把握が必要です。皆様の住所・電話番号・勤務先の変更や改姓などにより異動が生じたときは、同窓会にもご連絡くださると幸いです。異動のご連絡は、同窓会ホームページ(http://www.fit.ac.jp/dousoukai/)の「住所変更のページ」から行うことが出来ますが、電子メール FAX 葉書でも受け付けております。※異動(転居)がなくても、会報「雄飛」等が届かない場合は同窓会事務局まで「報ください」。

3. 会報「雄飛」への情報提供をお願いします。

同窓会事務局では、皆様からの情報をお待ちしております。会員の近況・就職支援情報、会報「雄飛」に関する感想、その他ご質問・ご要望などなんでも結構ですので、ご一しお寄せください。

〔連絡先〕
福岡工業大学同窓会(一般社団法人 雄飛会事務局)
〒811-0295 福岡市東区和白東3-30-1
TEL 092-608-5982(直通)
FAX 092-608-5982
e-mail dousoukai@fit.ac.jp

編集後記 我が同窓会は、来年度創立50周年を迎えます。「雄飛」では会員の活動状況や母校の古今東西、躍進情報等をお知らせし、より一層会員相互の絆を深め活性化できる様皆様のお役にたてる情報を発信してまいります。(広報部)

大学同窓会・雄飛会 発足50周年に寄せて

学長 下村 輝夫



常日頃、会員の皆様には母校に対し絶大なる御支援と御尽力を賜り、篤く御礼申し上げます。このたびの平成28年度は、同窓会・雄飛会発足50周年を迎えます。誠に改めてご挨拶いたします。

同窓会が発足した昭和41年は、日本が経済高度成長期に入ろうとする時期であり、英国ロックバンドのビートルズが初来日した年でもあります。それ以後、歴代の会長・本部及び支部役員の方々の大変な御苦労のお陰で、福岡工業大学に雄飛会ありの名声が浸透し、併せて大学及び短期大学部も発展して参りました。同窓会の奨学金制度も設立戴き、改めて感謝申し上げます。

「2014年全国の高等学校の進路指導教諭が評価する大学(大学通信・大学探しランキングブック2015)」に拠れば、福工大は国公立大学を含む1,125校の中で、次のようなランキングとなっています。「面倒見が良い大学」九州第1位(全国第12位)、「就職に力を入れている大学」九州第2位(全国第24位)、「小規模だが評価出来る大学」九州第2位(全国第31位)、「入学後、生徒を伸ばしてくる大学」九州第3位(全国第32位)。

教員の研究も年々活発化しています。大学の研究力を測る指標のひとつとされる科学研究費助成事業(科研費)の分科別においては、全国の国公立大学の中で、機械工学86位、電気電子工学87位、計算基礎51位、人間情報学78位となっています。また、世界的なビジネス誌『Forbes』(平成27年10月号・日本版)の「絶対有望大学」未来系新分野ランキングで、知能ロボティクスでは、福岡工業大学は第8位(トップは東大)となっています。

学園と同窓会は、謂わば車の両輪の関係です。会員皆様の御健勝・御多幸と共に、同窓会・雄飛会の益々の御発展を心から御祈り申し上げます。



学校法人福岡工業大学 第Ⅲ期施設・設備整備計画について

学校法人福岡工業大学 財務部 次長 萩尾政巳



予て「第6次中長期経営計画(マスタープラン)」や「第3次財政計画(改訂)」の議論において、将来に向けた校地・校舎等の整備の重要性が確認されました。これに基づいて、理事会・教職協働の活発な議論を経て、「次世代の学園の様々な使命に応えるために、キャンパス全域を再構築・革新すること」を基本的な考え方として、第Ⅲ期施設・設備整備計画が決定されました。

この計画は、①アクティブラーニング(学生・生徒の主体的学び)の拡大、②情報処理・情報編集技術の高度化、③ラーニングコモンズ(主体的学びの実践スペース)の学習機能向上、④キャンパスライフの快適性向上、⑤研究高度化・実用化の加速、⑥キャリア教育・グローバル化教育の高度化、並びに⑦地域社会・産業界との連携強化の7つの目的に沿って、「九州No.1の教育拠点化」を総合的目標として実行されます。

工事内容は、新棟の建設を始め、既存施設(教育棟やスポーツ施設の約70箇所)のリニューアルに至るまで多岐にわたります。工期は、平成27年7月～平成29年4月までのおよそ2年間です。この夏休みの間には、4教室のアクティブラーニング教室、図書館の先進的な学習スペース、スポーツコート、相撲場等が整備されました。

おつて、諸施設の完工に伴い、随時、紹介させていただきます。



■面積は約2,000坪(3階建、H28夏竣工予定)
■研究高度化に対応したオープンラボ、就職支援・グローバル化・学生サービスの拠点、FD(教授・教育法開発)の拠点を整えます。



■収容人数350名(4・5F、H27.10月オープン)
■図書館と情報処理センターが一体的に運用し、図書館機能の電子化・ネットワーク化進展。既に、フロアからあふれるほどの学生・生徒が利用しています。



■面積は約700坪(H27.10月オープン)
■ハンドボール、フットサル、バスケット等の正規基準面積を確保。体育授業、ハンドボールやフットサル等のクラブ・サークルで、予測を大きく上回る利用度合いとなっています。

同窓会会長挨拶

会長 小柳 辰生 (昭和45年電子工学科卒)



同窓会の皆様ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

昨年名古屋での全国大会、今年6月の「福岡支部の集い」に参加しました感想は、参加者全員が、旧交を温めあつたり、学年は違っても同窓というところで新たな出会いが生まれたり、第一線で活躍されている皆さんにとっては高度な情報交換の場となつたりと、和気あいあいの中で縦横の繋がりを求めて最後まで楽しく過ごされている姿が思い出されます。学生時代に同窓という同じ釜の飯を食つたことで結ばれている福工大同窓会の素晴らしい情景を目の当たりにしました。

健全な運営を目指して

母校の発展は目覚ましく教育の質、研究の高度化、就職率の向上、入学者数の増減、経営・財務などについて高い評価がなされております。

同窓会は法人化活動の強化などにより費用が高み、資産の取崩しがこころ

4年続いております。中国の「礼記」に書かれている「入るを量りて出づるを為す」を肝に銘じ、健全な財政運営が求められております。

改善策として、同窓会の案内状、会報誌「雄飛」などは全て紙媒体を利用のため通信費が大変な負担になっております。皆様のご理解を頂きながらこの数年のうちに電子化を推進、電子メール・ホームページの活用に変換することが出来ます。その分をどの事業に充てるか十分に検討し活動の活性化を図ると共に組織の強化を図っていきたく思います。

来年6月、同窓会が結成されて50年目を迎えます。この節目を契機に「後輩のために何をすべきか?」「支部活動はどうすればOBの拠所になれるのか?」「本部の組織・役割は?」等皆様の叡智を集め、目標を定め100年先を目指して一丸となり歩を進めなければなりません。ご協力よろしくお願ひします。

支部活動報告

【福岡県福岡支部】福岡県福岡支部総会報告

福岡県福岡支部 支部長 小口 幸一 (昭和46年電子工学科卒)



平成27年6月20日土曜日にJR博多駅筑紫口のホテルセントライザ博多におきまして、「第8回福岡工業大学同窓会 福岡支部の集い」を開催いたしました。

今回は短大同窓会と合併後の開催となり、126名の参加がありました。

今回の支部の集いは昨年の7月から一年掛けて毎月役員会を開催して多くの同窓生が集い楽しんで戴けるよう会議を重ねてきました。学生時代に良く耳にした母校のウエスタンバンド「ブルーマウンテンボーイズ」が卒業後も定期的に集って演奏活動をされていることを知り、懇親会の中で演奏して戴くことになりました。

集いは副支部長楠本氏による司会進行、物故者への黙とう、支部長挨拶、支部活動経過報告から始まり、懇親会では大学法人から法人事務局長の山下剛様、同窓会の小柳辰生会長、百原武敏前会長のご挨拶を戴きました。バンドの演奏では懐かし感動し、立ち上がりつつ踊っている方もいました。恒例のピンゴ大会も大盛況、最後は元応援団の杉尾様の演舞による学園歌、応援歌斉唱、副支部長大平氏による万歳三唱で締めくくりました。

来年開催される第15回定期大会は地元福岡での開催となりますので、この勢いで福岡支部としても力を入れていきたいと思っております。



百原前会長挨拶



山下法人事務局長挨拶



司会楠本氏



小柳会長挨拶



【ブルーマウンテンボーイズとは】
1964年、福岡工業大学(当時は電子工業大学)の学生が結成したバンドである。1967年、毎日放送主催「全国大学対抗バンド合戦」で九州代表となり、決勝では優秀な成績を残す。翌年、後輩に引き継がれ九州大会準優勝。その後、順次後輩に引き継がれ5代まで続いた。現在は、過去在籍したメンバーが一同に集まり、隔年OB会を開催している。



【佐賀県支部】佐賀県支部総会報告

佐賀県支部 支部長 牧瀬 亥一郎 (昭和44年電子工学科卒)

「今回参加いただいた方は次回も」

9月13日佐賀市「ホテルマリナー」創世にて3年ぶりの第9回総会を開催いたしました。

第1部総会では一連の議事が出席者のご協力により進行いたしました。

役員選出では、新役員一名と現役員全員留任となりましたので、支部長として新たな気持ちでの挨拶をさせていただきます。

その主たる挨拶は、「参加者24名が少なく感じられる方もいらつしやるでしょうが、わたくしは、毎回参加の方はもちろん、初めての方、久しぶりの方が顔を覚えていただき、嬉しく思います。参加者が少ないから等の理由で総会を中止すれば、総会開催が今後実施されなくなります。継続していくことが、次につながり、将来につながるべく信じているのであります。皆様おひとりおひとり、福岡工業大学同窓会佐賀県支部を支えていくことではありませんか。そのことが、我々の母校を支えていくことではないでしょうか。本日、参加していただいた方が、次回も必ず参加していただければ、少しずつではありますが総会参加者が確実に増えていくのではないのでしょうか。」



第2部の大学近況については、3年前と同じ若さの神合同窓会本部事務局長先生からDVDを交えて大学の全貌をお話しいただきました。

懇親会では、エレキバンドを呼び、支部長の年令に合わせた映画音楽、歌謡曲、バンド得意のベンチャースモデル等、最後の曲は支部長たつてのリンクエスト「キャラバン・ドラムソロ入り」で大いに盛り上がり、参加者全員が互いに再会を誓い合い有意義な総会でありました。

支部長の密かな願い「次回は今回より一人でも多くならないと、今回の同窓会会報「雄飛」への原稿が書けなくなる。」

山口県内支部会員のみなさまへ

山口県内5支部が活性化促進を目的に統合されます。平成28年2月中旬までに責任者会議の開催と総会を予定しています。

会員の皆様のご参加とご協力をよろしくお願いいたします。

中国ブロック担当役員 藤本 正宏

福岡工業大学同窓会(一般社団法人雄飛会)支部一覧 (平成27年7月現在)

全国に30のブロック・支部が結成され、世代を超えた会員相互の親睦を図る活動をしています。あなたが所属する支部から「支部総会」等の案内が届きましたら、同窓生を誘って世代を超えた出会いの時間を過ごしてください。

本・支部名(ブロック)	本・支部長名(敬称略)	エリア内訳	
北海道支部	有松 義勝(71・通信)	北海道全域	
関東本部	滝石 義礼(76・電気)	茨城県・栃木県・群馬県・埼玉県・千葉県・東京都・神奈川県・山梨県	
東海本部	石田 裕人(79・電子)	長野県・岐阜県・静岡県・愛知県・三重県	
関西本部	浅野 正之(75・電気)	富山県・石川県・福井県・滋賀県・京都府・大阪府・兵庫県・奈良県・和歌山県	
中国ブロック	鳥取県支部	本池 憲彦(76・材料)	鳥取県全域
	島根県支部	澤田 一(74・材料)	島根県全域
	岡山県支部	名合 憲司(81・通信)	岡山県全域
	広島県東支部	藤井 敏博(74・管理)	福山市・尾道市・三原市・府中市・庄原市・神石郡神石高原町・世羅郡世羅町
	広島県西支部	藤本 正宏(79・電子)	広島市・東広島市・呉市・廿日市市・三次市・大竹市・竹原市・安芸高田市・江田島市・安芸郡府中町・安芸郡海田町・安芸郡熊野町・安芸郡坂町・豊田郡北島町・山県郡安芸太田町・山県郡北広島町
	山口県中央支部		山口市・防府市・宇布市・山陽小野田市
	山口県北支部	田村 兼啓(78・電気)	萩市・長門市・美祿市・阿武郡阿武町
	山口県下関支部	小畑太一郎(78・電気)	下関市全域
山口県徳山支部	林 範親(75・電子)	周南市・下松市・光市	
山口県柳井支部	村本 徳光(77・電気)	岩国市・柳井市・玖珂郡和木町・大島郡周防大島町・熊毛郡田布施町・熊毛郡平生町・熊毛郡上関町	
四国ブロック			
徳島県支部	羽坂 敏弘(75・電子)	徳島県全域	
香川県支部	山地 正博(76・電気)	香川県全域	
愛媛県支部	西村 義一(77・電気)	愛媛県全域	
高知県支部	山本 俊平(78・電子)	高知県全域	
福岡県福岡支部	小口 幸一(71・電子)	福岡市・春日市・太宰府市・大野城市・筑紫野市・糸島市・古賀市・宗像市・福津市・糟屋郡宇美町・糟屋郡粕屋町・糟屋郡篠栗町・糟屋郡志免町・糟屋郡久山町・糟屋郡新宮町・糟屋郡須恵町・筑紫郡那珂川町	
福岡県北九州支部	木村 征洋(67・電子)	北九州市・中間市・行橋市・豊前市・遠賀郡芦屋町・遠賀郡岡垣町・遠賀郡遠賀町・遠賀郡水巻町・京都郡苅田町・京都郡みやこ町・築上郡上毛町・築上郡築上町・築上郡吉富町	
福岡県筑後支部	甲木 次雄(67・電子)	久留米市・小郡市・朝倉市・八女市・大牟田市・柳川市・大川市・筑後市・うきは市・みやま市・朝倉郡筑前町・朝倉郡東峰村・三井郡大刀洗町・三井郡大木町・八女郡広川町	
福岡県筑豊支部	松岡伸一郎(71・電気)	飯塚市・田川市・直方市・嘉麻市・宮若市・嘉穂郡桂川町・鞍手郡鞍手町・鞍手郡小竹町・田川郡福智町・田川郡糸田町・田川郡大任町・田川郡川崎町・田川郡香春町・田川郡添田町・田川郡赤村	
佐賀県支部	牧瀬 亥一郎(69・電子)	佐賀県全域	
長崎県支部	松尾 裕幸(72・機械)	長崎県全域	
大分県支部	溝部 義昭(71・電気)	大分県全域	
熊本県支部	中本 龍二(76・通信)	熊本県全域	
宮崎県宮崎支部	猿渡 三喜男(75・機械)	宮崎市・日南市・串間市・都城市・小林市・えびの市・北諸県郡三股町・西諸県郡高良町・東諸県郡綾町・東諸県郡国富町	
宮崎県延岡支部	友井 義則(69・機械)	延岡市・日向市・西都市・児湯郡川南町・児湯郡木城町・児湯郡新富町・児湯郡高鍋町・児湯郡都農町・児湯郡西米良村・西臼杵郡五ヶ瀬町・西臼杵郡高千穂町・西臼杵郡日之影町・東臼杵郡門川町・東臼杵郡美郷町・東臼杵郡諸塚村・東臼杵郡椎葉村	
鹿児島県支部	増水 紀勝(67・電子)	鹿児島県全域	
沖縄県支部	宮城 洋一(75・通信)	沖縄県全域	

大学クラブ・サークル紹介



アクションサッカー愛好会



ラグビー部



サッカー部



吹奏楽団



弓道部



サイクリング同好会

大学クラブ・サークル紹介



FIT-ICE同好会

その他のクラブ・サークル一覧

文化系

AllRoundMusic部 音楽研究部
 情報技術研究部 モダンアート部
 フォークソング研究部 音響部
 ロック部 演劇同好会-劇団FIT-
 Marching同好会 アカペラ同好会
 サブカルチャー同好会 茶道同好会
 天体愛好会 保健愛好会
 料理・スイーツ研究愛好会
 競技麻雀同好会

短大 グラフィックデザイン部
 アートクラフト部

体育系

合気道部 アーチェリー部 剣道部 硬式テニス部
 硬式野球部 自動車工学研究部 準硬式野球部
 女子柔道部 水泳競技部 ソフトテニス部
 ソフトボール部 卓球部 テコンドー部 軟式野球部
 バスケットボール部 バドミントン部 バレーボール部
 陸上競技部 硬式テニス同好会 サッカー同好会
 サバイバルスポーツ同好会 トライアスロン同好会
 ダンス同好会 ダーツ&ビリヤード同好会
 パワーリフティング同好会 ハンドボール同好会
 フットサルFANTASIA(同好会) 楯円球愛好会
 相撲愛好会 バスケットボールサークル~PRESS~
 男子柔道愛好会



アイスホッケー部



写真部



環境サークル
オアシス部

第一応援歌

風荒れさわぐ玄海の
 海波ひとたび怒りなば
 朔北の雄福工大
 闕下にいどむ戦いに
 勝利の戦旗奪わんと
 盟友会す決戦場
 工大 工大 若き工大

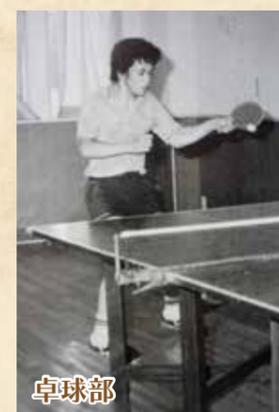
あ、団結の力こそ
 今激闘の唯中に
 栄光かけていざ征かん
 決死奮戦倒るとも
 断固と護れ青き旗
 鮮血にじむ学園旗
 工大 工大 若き工大

ライトブルーの旗の下
 天下の雄を摺伏し
 あげるかちどきたからかに
 きけ玄海の唯中に
 ひとり雄叫ぶ福工大
 万古の歴史きかずかんや
 工大 工大 若き工大

懐かしのクラブ活動



舞踏研究部



卓球部



吹奏楽団



ワンダーフォーゲル部



合気道部

あの先生は今

元情報通信工学科 教授
岩重 二郎

私は、1985年(昭和60年)4月、前任校から福岡工業大学に着任致しました。当時本学は工学部だけの単科大学で、その通信工学科に配属、その後の改組で情報工学科情報通信工学科の所属となり、そこで昨年(平成26年3月)70歳で定年を迎えました。在任中は、主に電波・アンテナ関連の研究に従事、「電気回路」、「電磁波工学」等の講義を担当していました。

さて、定年退職を目前に控えた一昨年(平成25年)12月、地元町内会から次期町内会長にとのお話がありました。これまでは職場(大学)と自宅との往復で、しかも電波・アンテナの狭い分野しか知らない世間知らずという不安はありましたが、これまで町内会からはお世話になっていたことでもあり、お引き受けることに致しました。いざ町内会長になつてみると、それはそれは大変、初めて経験する分野の仕事の数々、心配していた通り当初は随分戸惑い・悩みました。しかしその一方で、多くの人々との出会い、そして少しでも地元貢献できるの喜びもありました。さらに最近では、私にとつての新しいことへのチャレンジであり、これらを通して自分の世界が広がり、自分が成長しているように思えるようになりました。その歳で今更成長しても?と思われるかもしれませんが、あと40年も50年も生きていく積もり、そのためにこれからはいろいろな経験をし、すこしでも成長していかなくては、と思ふ今日この頃です。



元管理工学科・福岡工業大学短期大学部 助教授 松田 泰典



「山と高山の花に魅せられて」

外階段がたすき掛けのように取付けられた白一色の3階建ての建物、大学発足当時の本館の姿が懐かしく思い出されます。私は昭和48年2月、この本館の2階にあつた管理工学科第4研究室(稲永研究室別室)に席を置きました。それから退職するまでの33年間、大・短期大学の多くの学生さん、教職員の方々に出会い、恵まれ、育てられ、刺激ある充実した日々を過ごさせていただきました。在職中の思い出多く、懐かしさがいっぱいです。退職後は「何かをやる」として、気力はもろろん体力が必要な「動的なこと」、「今ならできること」を躊躇せず実行に移しています。快晴の北海道利尻岳、紅葉の大雪山、岩木山、八甲田山、ブナの原生林白神岳(世界自然遺産)、岩稜の穂高岳、北穂高岳、槍ヶ岳、霊山の立山三山、大雪渓の白馬岳、富士山に次ぐ高峰の北岳など、山と高山の花に魅せられて山旅を楽しんでいます。今夏は、会津駒ヶ岳からニッコウキスゲが咲く尾瀬を歩いてきました。でも、毎日の体力づくりが欠かせません。朝から四季を感じながら室見川河畔路を約10km、15、000歩ほどを歩きます。雨の時、歩き始めはチョットつらいと感じますが、健康維持を兼ねて山旅を目標に歩きます。年齢を重ね「動的なことから静的なこと」へ何時か、気力を切替えざるを得ない時まで、歩き続けたいと思います。楽しくニッコウキスゲ、笑顔を決めず、心はワクワク・ドキドキする刺激のある毎日過ごしていきます。

活躍するOB・OG

長崎県島原市 市長
古川 隆三郎
(昭和54年電子工学科卒)



昭和54年3月に工学部電子工学科を卒業と同時に家業の青果店を営み、島原市議会議員を経て、平成24年12月に島原市長に就任しました。在学中の4年間は、電子工学の専攻と共にフォーキング研究部に所属し、立花祭で演奏するなど青春を謳歌していました。帰郷後は、生まれ育った故郷「しまばら」で消防団やスポーツ少年団の指導者など地域に密着した活動を行って来ました。

平成2年に始まった雲仙・普賢岳噴火災害では、平成3年6月の大火砕流により、共に地域の防人として活動していた消防団の仲間を含む43名もの尊い命が失われるなど、大きな被害をもたらした未曾有の災害でしたが、全国の皆様のご支援のもと、着実に復興を遂げることができました。これまでの皆様方の温かいご支援に對しまして、改めて深甚なる感謝を申し上げます。

市長就任後は、民間の経営感覚を持って、市民目線での市政運営に努めておりますが、今日の地域社会をとりまく環境は大きな転換期を迎えており、本市におきましても、「地方創生」、特に人口減少問題は切実な問題であります。

こうしたことから、本年は、人口減少対策を最重要課題と位置づけ、「ことごとん子育てにやさしい街づくり」、「高齢者がいきいきと輝く街づくり」、「若者がチャレンジできる街づくり」の3つの柱を中心に、島原らしい個性を生かしたまちづくりに取り組んでまいります。

どうか同窓生の皆さんにおかれましても、本市の市政推進にご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げますとともに、こんこんと湧水が湧き出る歴史情緒あふれる城下町「しまばら」へ是非ともお越しくださいますようお願いいたします。

株式会社ウイズ・エフ・シー・シー 常務取締役 川上 保子
(旧姓 古賀)
(昭和41年短大電子工学科卒)



「懐かしい母校との御縁」
母校、福岡工業短期大学(電子工学科)を卒業して早いもので50年近くが経とうとしています。在学中は、城東高等学校の宮川校長先生の家に女性徒3人が下宿して楽しく過ごしました。授業は難しかったのですが、クラブ活動で技術研究部に入り、図面を書いていました。

卒業して就職したのは、富士通関連の会社で、計算センター所属でした。結婚後は、福岡を離れましたが、造船関係の主人の転勤で南米ウルグアイへ11年間行くことになりました。南米は、貧しい国でしたが、ラテン独特の明るくて楽しく日々を過ごしている様子に驚きました。南米は、陸続きなので、ブラジル、アルゼンチン、パラグアイ、チリなど車で気軽に行くことができ、多くの旅行をしたことが思い出に残っています。8年ほど経った時に、仕事の話があり、輸出入の会社に就職することになりました。オレンジや材木の輸出入をやっていた会社で、船舶担当の輸出部門でした。モンテビデオ港に入る日本船(貨物船、漁船など)やスペイン語が通じる船に営業を行います。船に必要な食料品や材料、機材、免税品などを販売致しました。輸出業務です。

2年ほど経ったある日、社長に呼ばれ、「日本に行つて営業をしてきなさい。ただ名刺を配るだけいいから」と言われ、VISAカードを渡され、日本縦断することになりました。函館から長崎まで一か月ほどかけて水産会社を訪問しました。大きな水産会社は、東京にありましたので東京に一週間ほど滞在し、本社での営業を行いました。日本語が通じる会社ということで、水産会社は快く話をつけて聞いてくれました。とにかく怖いもの知らずで次々にアポを取り、会社訪問をしました。私の当たつて砕けるの精神は、この頃培われたのかもしれませんが、30社から40社ほど全国を回りましたが、その中で積み船を積んでいる築地のある会社と話しが纏まり、契約書を交わすことが出来ました。英語での契約書をウルグアイの会社からファックスで送つてもらい、それを製本し契約書が完了しました。それから、日本を出る時や海上から注文書が届き、接岸と同時に荷物を船に届けることができました。

その後帰国して、株式会社 ウイズ・エフ・シー・シーに入社致しました。仕事をしていく内に、また母校とお付き合いが始まりました。

FISA(福岡県情報サービス産業協会)に加入していた関係で活躍されていた母校出身の先輩、後輩の方々とお会いすることができました。

6年前に動脈瘤破裂によるくも膜下出血で倒れたのを機に会社を退職致しました。二ヶ月間意識不明でしたが、奇跡的に命を取り留めました。気がついた時は、左半身麻痺でしたが、その後の厳しいリハビリのおかげで元の身体に戻ることができました。

現在は、ボランティア活動をやっています。一昨年は、メキシコからの観光客3人の通訳を致しました。また香坂優さんというタンゴ歌手の応援をしています。アルゼンチンに一人渡り苦勞をされた方で先にアルゼンチンで歌手デビューされた方です。最後になりますが、今後のますますの貴大学の御発展をお祈り致します。

学園歌

あ、玄海に陽は落ちて
紫紺にかすむ立花の色
馨床しき峯の色
学徒の夢をそゝるかな
雲はるかなる北洋や
仰ぐ北斗のまたたきに
想いは遠し故郷の
山河新たに胸に沁む
さあれ若人永遠に
汝が生命は火と燃えて
行くや世界の真原理
貫きとめん福工大

日本刀に魅せられて

私の中学生時代の友人に日本刀の研師がおります。今でも親交を温めており、そんな関係から私自身も予てより日本刀に深く興味を持っておりました。特に日本刀の出来具合は素材である砂鉄の質や匠の技により変わってくる等、かつて色々と勉強したこともありました。

そんな中に、東海ブロック代議員の小野裕氏が公益財団法人日本美術刀剣協会の会長を務めている旨、同期生から知り得ました。私は感動と驚きから、今年の3月の同窓会社員総会の折に、日本の伝統美術文化財である日本刀の保存や普及に尽力されている話を伺うことができ、本人は言葉少なに会長職に就いている旨、話してくれました。

それから、刀剣協会のホームページや刀剣に関する書籍を辿っていくうちに小野氏の功績を知り、同窓生として誇りに思う次第です。

この様な経緯から、同窓会会報「雄飛22号」に小野氏を紹介し、日本美術刀剣協会の会長としてご寄稿をお願いするに至りました。

(同窓会副会長 米倉 和實
昭和45年電子工学科卒)

公益財団法人日本美術刀剣保存協会 会長就任について

公益財団法人日本美術刀剣保存協会 会長 小野裕
(昭和45年電子機械工学科卒)



平成18年公益法人制度改革関連3法案が公布され現行の公益法人は施行日平成20年12月1日より5年間の移行期間を経て新体制へ移行しなければなりません。しかしその頃当協会は問題山積み新公益法人の認定どころか解散になるのではとの噂が大半でした。

そこで当時評議員であった私は、評議員会にて改革の是非を訴え多くの賛同を得て改革有志の会を立ち上げ、役員改選を行い専務理事に推薦され就任した後には問題を一つづつ解決しさらに会長代行として会長の職務を引き継ぎ、新公益法人の認定を受け平成24年4月1日より新公益法人日本美術刀剣保存協会として生まれ変わり私は会長として大役を引き受けることとなりました。

当協会の先人の方々は敗戦時連合GHQより日本刀を没収の危機から救いました。現在日本刀の素晴らしさを鑑賞できるのも先人達の並々ならぬ努力の賜であり、その熱い思いを引き継ぎ各種事業を行っております。

おり、島根県奥出雲で製造しております。又刀剣等の審査鑑定業務は公益法人として権威も高まり愛刀家から信頼を得ており刀剣類の保存には重要な要素となっております。

さらに大きな事業として老朽化した博物館を墨田区両国に2年後をめどに新刀剣博物館建設に取り組んでおります。又刀剣ブームも追い風となっており世界に向かって日本固有の文化財である美術品の日本刀の素晴らしさを発信していく事が私達協会の使命だと思っております。

卒業生の皆様、お近くの美術館、博物館などで日本刀の展示があれば一度足を運んでみて下さい。武士は刀を護身として神格化し、武士の精神性と二千年余の歴史を持ち、戦国時代の英雄織田信長、豊臣秀吉、徳川家康など天下人等、名だたる武将から伝わった日本刀の歴史ロマンを思い馳せ日本刀の魅力を感じてみて下さい。協会の詳しい内容は刀剣博物館ホームページで確認出来ます。又協会の日刀保たたらを取り上げた映画『たたら侍(監督錦織良成、キャスト 劇団EXILE)』現在奥出雲の地で製作中であり、詳しくは、たたら侍で検索して下さい。

2016年上映予定ですので映画の方も是非ご覧下さい。



【写真(透かし)】[国宝]太刀 銘 延吉(上)、金梨子地菊紋散鞘糸巻太刀拵(上から2つ目)、張果老図透鐔 銘 安親(左下)、堅木鞘靈獸文腰刀拵(右下)

短大特集

短大の移り変わり



短大校舎



1962年頃



1969年頃



1988年頃



2000年頃



2005年頃



2005年頃



2005年頃

4号館



1984年頃

B棟 現在



短大の思い出

倉光 真紀(旧姓 内匠)
(平成4年短大電子情報学科卒)

私が在籍したのは平成2年〜4年です。朝登校すると、1階の売店でおにぎりを購入し、お弁当を予約していました。よく食べよく学びの学生生活でした。

高嶋先生の授業では、「目を開けたまま居眠りをする」という技を覚えました。とても厳しい先生でしたが、質問をしに研究室を訪ねると、わかるまで親切丁寧に指導いただきました。帰りぎわには、いつもおいしいコーヒーをご馳走していただきました。

齋藤先生から、授業の終わりに「今日の帰り研究室に来て」と言われる時もドキドキしていました。なぜかという、電気回路等の計算を色々な解き方で答えを出す、という課題を出されるからです。

担任の上野先生は、疲れた顔をしていると、「大丈夫か〜大丈夫か〜」と、ニコニコしながら話しかけていたため、いつも元気をもらっていました。(今もお会いするとお変わりない笑顔です。)

現在は、昔の学舎は取り壊されておりませんが、学校に来るたびに、楽しかった大切な時間を思い出します。



決算・予算報告

平成26年度決算 平成26年度収支計算書(H26.4.1~H27.3.31) 単位:円			
収入の部		支出の部	
科 目	金 額	科 目	金 額
会費	20,300,000	総会費	3,647,310
預金等利息	166,118	理事会費	1,907,620
寄付金	0	支部費	3,438,364
雑収入	1,285,792	広報費	4,011,991
一般会計繰入金	5,052,000	会員情報管理費	687,185
小 計	26,803,910	学生修学支援費	3,120,000
前年度繰越収支差額	15,737,025	学生就職支援費	700,000
		学術文化スポーツ振興費	500,000
		事務局費	5,524,477
		予備費	300,720
		小 計	23,837,667
		特別会計引当金	1,000,000
		一般会計繰入金	5,052,000
		不動産・動産償却費	488,775
		同窓会会館建設費積立金	0
		特別記念事業費積立金	0
		次年度繰越収支差額	12,162,493
合 計	42,540,935	合 計	42,540,935

平成27年度予算 平成27年度収支予算(H27.4.1~H28.3.31) 単位:円			
収入の部		支出の部	
科 目	金 額	科 目	金 額
会費	19,280,000	総会費	2,000,000
預金等利息	160,000	理事会費	1,600,000
寄付金	390,000	支部費	4,176,000
雑収入	400,000	広報費	3,900,000
一般会計繰入金	4,837,000	会員情報管理費	730,000
小 計	25,067,000	学生修学支援費	3,510,000
前年度繰越金	104,608,501	学生就職支援費	1,700,000
平成28年度会費前受金	16,880,000	学術文化スポーツ振興費	500,000
平成27年度会費前受金	△17,740,000	事務局費	5,951,000
総会費積立金	2,000,000	予備費	1,000,000
動向調査費積立金	0	小 計	25,067,000
同窓会会館建設費積立金	0	同窓会会館建設費積立金	0
特別記念事業費積立金	0	特別記念事業費積立金	0
一般会計繰入金	△4,837,000	不動産・動産償却費	0
平成26年度預り金	△5,380	次年度繰越金	100,906,121
平成27年度預り金	0		
不動産・動産償却引当金	0		
小 計	100,906,121	合 計	125,973,121
合 計	125,973,121		

平成26年度貸借対照表(H27.3.31現在) 単位:円			
借方(資産)		貸方(負債)	
科 目	金 額	科 目	金 額
現金	105,960	会費前受金	17,740,000
郵便振替口座	7,287,710	基本金	4,293,306
普通預金・郵便貯金	10,597,826	総会費積立金	0
定期預金・担保定期貯金	51,617,005	動向調査費積立金	2,522,130
利付国債	35,000,000	同窓会会館建設費積立金	60,000,000
小 計	104,608,501	特別記念事業費積立金	8,498,162
什器備品	612,970	預り金	5,380
		小 計	93,058,978
		次年度繰越収支差額(正味財産)	12,162,493
		未処理金	11,549,523
		什器備品	612,970
合 計	105,221,471	合 計	105,221,471

平成27年度 代議員一覧 (平成26年6月~)

氏 名	卒年科クラス	役 職	運営委員・専門部等	選出地域
小柳 辰生	70電子	会 長		福岡支部
米倉 和寛	70電子	副 会 長	運営委員 広報部長	福岡支部
神谷 英和	67材料	事務局 長	運営委員	福岡支部
田中 陸教	66電子	理 事		福岡支部
外山 吉計	71通信	理 事	運営委員 学生就職支援部	筑後支部
桑原 雅浩	83電気	理 事	運営委員	福岡支部
齋藤 文親	67電子	監 事		福岡支部
田中 秀司	75材料	監 事		福岡支部
滝石 義礼	76電気			関東ブロック
石黒 佳一郎	72通信			関東ブロック
小野 裕	70機械			東海ブロック
浅野 正之	75電気			関西ブロック
松本 良次	75電気			関西ブロック
藤本 正宏	79電子			中国ブロック
岩岡 一平	85材料			四国ブロック
小口 幸一	71電子		運営委員	福岡支部
楠本 總幸	71通信		運営委員 学生修学支援部長 学術・文化・スポーツ振興部	福岡支部
萩田 寛司	72電子		運営委員 学生修学支援部	福岡支部
小柳 礼二郎	74電子		運営委員	北九州支部
松岡 伸一郎	71電気		運営委員 会員情報管理部長	筑豊支部
牧瀬 亥一郎	69電子			長崎・佐賀・大分
猿渡 三喜男	75機械			熊本・宮崎・鹿児島
宮城 洋一	75通信			沖縄県支部
上野 浩一	66電子		運営委員 会員情報管理部	福岡支部
松尾 一壽	71電子		運営委員 学生就職支援部長	福岡支部
橋 豊文	69電子		運営委員	福岡支部
北村 敏幸	81通信		運営委員 学術・文化・スポーツ振興部長	福岡支部
山口 芳弘	91電気		運営委員	福岡支部
藤野 和美	92電気		運営委員 広報部	福岡支部
倉光 真紀	92短大		運営委員 広報部	福岡支部

百原 武敏 67電子 相 談 役 平成27年度第2回理事会(10/17開催)にて承認

学校法人福岡工業大学 中期経営計画

第7次マスタープランと 同窓会への期待

学校法人福岡工業大学
経営企画室 次長
鶴崎 新一郎



同窓会の皆さまには、各方面でのご支援をいただき、厚くお礼申し上げます。また、来年度50周年を迎えられる同窓会が、次の100周年に向けて飛躍されることを祈念いたします。

さて、福岡工業大学は、九州・福岡の地で、元気のある大学として高い評価を受けています。近年、本学の教育研究活動が活発であることから、9年連続の志願者増や10年連続の帰属収支差額の黒字(株式会社)の経常利益に相当するなどを計上するなど、顕著な成果を上げていることに拠るものです。

このことを支えているのが、平成10年度にスタートした「中期経営計画(マスタープラン)」「MP」に基づく経営管理システム(PDCA)です。順調に進展し、現在、平成28年度にキックオフ予定の第7次MP案を教職協働で議論しています。テーマは、経営理念である「For all the students」すべての学生生徒のために、教育の質的転換と付加価値向上、特色ある研究によるプレゼンスアップ、キャリア教育と就職支援、学生支援の充実などを設定し、5年先の福岡工業大学のビジョンを描くようにしています。

この機会に、MPとの関係で同窓会のポジショニングを考えてみました。大学経営の理論の中に、「エンロールメント・マネジメント(EM)」、入学前から在学、卒業後までの一貫した学生の支援システム」という考え方があります。このことは視点を考えると、卒業生も同窓会は、三福工大の一員として、大学とともに学生の多様なキャンパスライフの向上を担う役割が期待されていると言ったこともできます。今後、大学は、同窓会とのメンバーシップを共有し、学生のための支援に限らず、同窓生のための大学活用などもMPの施策として推進し、お互いの充実、発展に寄与していく所存です。

今後とも、本学の教育研究活動にご支援をいただきたく、よろしくお願ひ申し上げます。



予告

第15回定期会員大会

平成28年6月18日(土)

母校 福岡工業大学B棟
レストランオアシスにて開催決定!

福岡工業大学同窓会
(一般社団法人雄飛会)

学園の歴史探訪

世代を超えて共通する普遍的なもの、それは母校 へ建学の綱領・校章・学園歌・応援歌

福岡工業大学 学生部 事務次長 桑原 雅浩 (昭和58年電気工学科卒)



本校は、学園創立以来、建学の綱領(教育理念)、精神は普遍的に受け継がれています。また、学園のシンボルである校章は、学校法人の法人旗(校旗)に印され、また、学生自治会体育会旗にも印されています。

校旗は大学正門から正面に望む本部棟の玄関右位置に日本国国旗と共に掲げています。校旗や体育会旗は入学式、卒業式等の学校行事での掲揚は勿論、かつは、スポーツなどの応援の際に応援団が高々と校旗を掲げ、学園歌、応援歌で選手を士気を鼓舞してきました。

学園歌は、会社で云々この社の歌であり、学園創立時の学園と生徒に対して、未来に亘る永続的發展と成功を念じて作られたものと同じく、一方、応援歌は、未だ名も無かつた学園をスポーツや武道を通してその名声を世に広めんとする為に、生徒に対して一致団結して応援する為のもので、何れも「建学の綱領(精神)」を具現化することを目的とした歌である故に、応援の状況に応じて学生と教職員が一緒になって歌ってきたものです。

私の校旗や学園歌(応援歌)に纏わる遠い記憶を辿ります。あれは、校散りゆく4月初旬を過ぎた頃、4限目の授業が終わり、放課後になると1号館の屋上から応援団員の歌声が毎日響いてきます。たしか時期的にみて硬式野球部の福岡六大学春季リーグ戦開幕に向けた応援練習と想います。週末に九産大野球場まで赴くと我が福工大応援団の面々が青空に届かんとばかりの大団旗を掲げ、黒い学ランを靡かせて応援エールに続いて学園歌や応援歌で硬式野球部を盛り立て、喉が裂けんばかりの応援をしていました。彼らの誇りに満ちた応援姿勢に感動し、「観戦」で「応援」の違いを静かに悟ったものでした。

昭和50年代当時の大学には、応援団や寮生、学生自治会執行部、体育会、学術文化会、実行委員会、アラム委員会、代議員会等の所属学生が学園歌と応援歌を歓迎会、送別会、県人会など機会がある毎に歌い、理屈抜きに後輩に継承していく文化と風土があつた様に思います。

本校は、開設(昭和38年)当初より、西日本各地から学生を受け入れており、言葉や文化の違いを学生同士が唯一皆と共通する校章、学園歌や応援歌を環境や時間の変化にかかわらず、連続する同一のものと位置づけ、大学への帰属意識(愛校心)やアイデンティティとして位置づけていたのだと思料します。

平成25年度に福岡工業大学が創立50周年を迎え、折り返して創立100周年を迎えるまで、この様な自己同一性を永続的に繋いで行く事は、とても重要なことと考えています。卒業生目線で見ると同郷心や愛郷心と等しく、愛校心を醸成する同一共有の一助となり得る尊い価値として守り続けて欲しいものです。

大学は、これからも社会の要請や変化を受け入れて、教育内容(カリキュラム)、学部学科の改組、教育施設設備(経営者、教職員)その他関係する組織等の変容があつても教育理念(建学の精神)は普遍的に受け継がれて行くものと思います。

本学で教育を受ける学生一人ひとりのキャンパスライフは、正課に止まらず、課外活動、ボランティア活動などアクティブに活動していく中で先輩、同期、後輩の縦と横の関係を育くみ、学生時代を謳歌して欲しいと思います。

同窓会が昭和41年に組織されて、同窓会の目的は一貫して変わっており、「学園発展の為」とあります。同窓会は、同窓生の親睦を図ると共に、大学の発展の為に同窓会組織として何が出来るのかを常に考え、問い続けつつ同窓会活動を推進せねば成らぬと思います。

最後に、「学園歌及び応援歌を福岡工業大学の歌として再度明確に位置づけ、式典や応援などのその場の状況に応じて歌い分け、」こととし、世代を超えた共通の思いやアイデンティティとして尊び、これらの歌が在学学生、教職員・卒業生の心に刻まれていくことを期待致します。